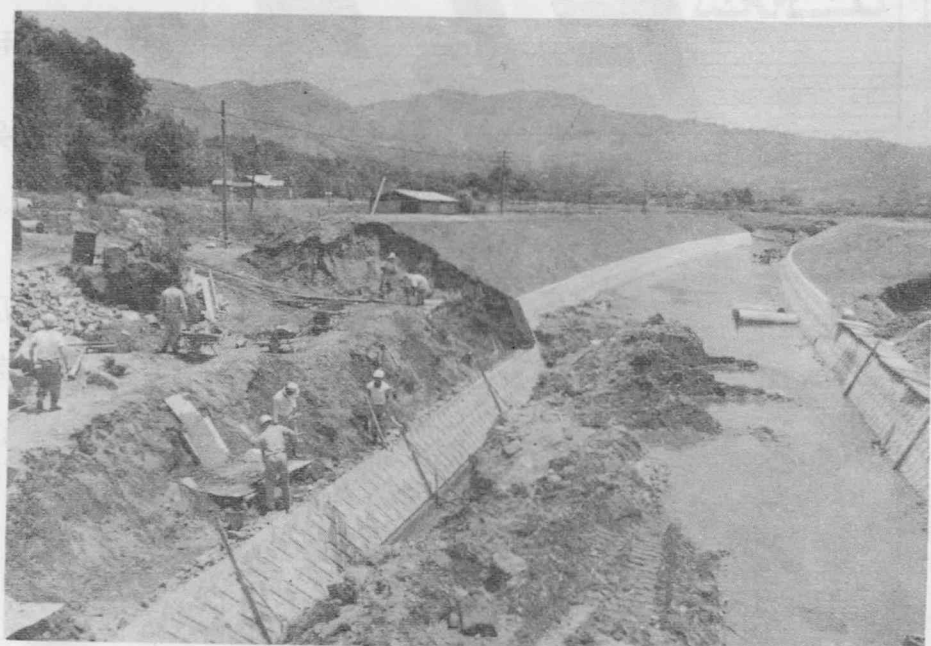
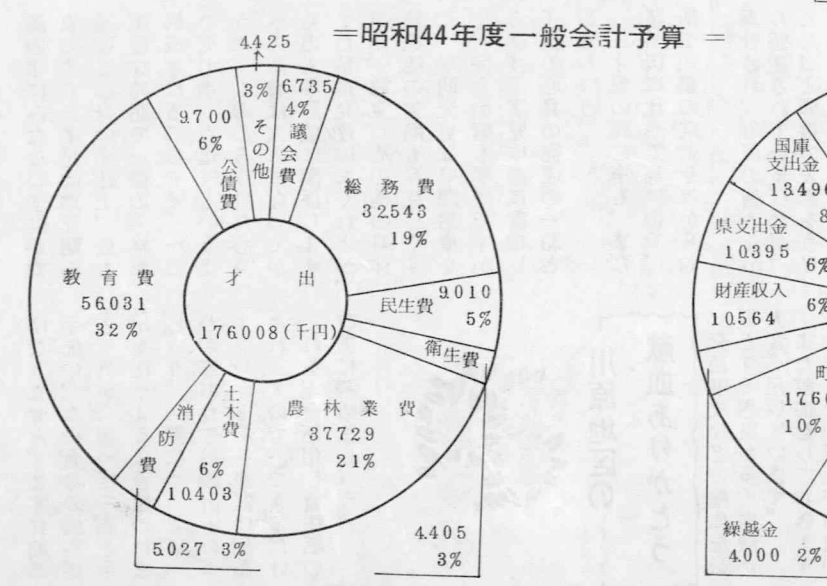


田代町の財政事情
昭和四十四年度下半期財政事情を次のように公表します。
昭和四十四年五月一日
今回は昭和四十三年下半期の財政運営状況と昭和四十四年度各会計当初予算の概要についてお知らせします。
1 昭和四十三年度下半期財政運営状況
昭和四十四年三月末現在における各会計の予算執行状況は下表に示すとおりであります。執行率は一般会計で収入八三%、支出七六%、特別会計で収入七七%、支出七一%程度となっております。一応順調な運営状況であります。

国保会計については、当初伸率を二六%増と見込んでこれに伴う保険税の引上げを行い、予算を編成いたしました。国保運営に対する皆様方の御理解と御協力により、ここ二、三年間平均二八%と高い伸率を示していた医療費が四十三年度はじめて一四%位に落ちる見通しであります。国保財政の運営につきましては、国の抜本的対策と相俟って

健全財政の維持に一段の努力を続けなければならないと考えます。
2 昭和四十四年度各会計当初予算のあらまし
(1) 一般会計
昭和四十四年度一般会計当初予算総額は一億七千六百九十九万四千七百九十九円、前年度当初に比べ二二〇〇万円の増となっております。この主な理由は、大原小学校の鉄筋校舎新築工事が算入されているためで、内容については下表のとおりであります。これにより歳入予算をみてみますと、地方交付税が、全体の五割を占め、次に国庫支出金、町債を合せますと全体の七割五分にも達し、これら国庫に依存している財源の占める割合は年々上っていく傾向にあります。町独自でまかなえる財源は、町税とその他で二割五分程度ですが、町税の中には昨年から発足した自動車取得税交付金一五〇万円が含まれています。歳出については教育費が全体の約三割を占め、次に農林業費、土木費の順で、四十四年度予算においては以上の三事業に重点がおかれていますことがわかります。次に計画されている主な事業は次のとおりです。
① 総務関係
町有林整備事業 四七〇万円
消防ポンプ車購入 二五〇万円
② 農林業関係
麓地区圃場整備事業補助

昭和43年度各会計収支状況 (昭和43・3・31現在)
一般会計予算額 (186584千円)
(収入済額)
(支出済額)
収支差引額 12575千円
国保会計予算額 (87629千円)
収支差引額 1623千円
土地改良会計予算額 (6229千円)
収支差引額 706千円
水道会計予算額 (4427千円)
収支差引額 483千円
八〇〇万円
五三〇万円
一八八万円
一五〇万円
四五〇万円
三六〇〇万円
三〇〇万円
二〇〇万円
④ 土木関係
道路改良事業 三〇〇万円
山下橋復旧工事負担金 二〇〇万円
(2) 特別会計
新年度の特別会計予算は下表のとおりで総額において二五〇万円の増ですが、国民健康保険会計の医療費の増が前に述べました理由で、当初見込みより低下したことから、四十三年度当初予算は約四〇〇万円程度で、特別会計全体の四十四年度当初予算は実質約六五

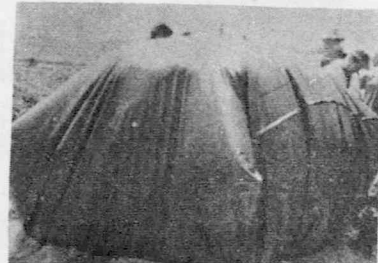


雨期を目前に... 急ピッチの河川改修
いよいよ台風季節がやって来ました。
昨年九月集中豪雨により大災害を被った麓川流域は、その応急工事に引き続き本工事が必要です。
一年一年見違えるような丈夫で美しい河川ができれば、

写真：山下橋附近の改修工事
下橋とその附近の工事費に約二千万円がつかれます。
あとは大根田下の栗山井せき附近を約百メートル、麓川の下流谷川の合流地点附近まで飯河川(堀り通し)を通します。
昨年九月の集中豪雨のときのような大雨でも安心していただけるよう、早く完成してほしいものです。
肉用牛の主産地をめざして
田代町では現在の二三〇頭の肉用牛を二〇年後には、三〇〇〇頭に増やす計画です。
各農家でも現在の二、三頭飼いかから五、六頭、または二〇頭以上の多頭化飼育経営に進めてほしいものです。本年の二月せり市より子牛価格が暴落し肉用牛に対して悲観的な考え方をする農家も少なくない。今こそ肉用牛の多頭化、優良系統の肉用牛に切り替えるチャンスと考へられます。肉用牛は草で飼えるという強みがあり、す。良い草を多量に生産し年間を通して牛に十分に給与できる。これこそ楽しい肉用牛経営で収益もより高まることでしょう。これからの肉用牛経営は年間を通して平衡的に粗飼料を如何に多給するかにあると思います。飼料作物を作ってみると、飼料作物の生産に差のあることを体験されると思います。

じょうずな粗飼料の貯蔵で今こそ、肉用牛に力を……
ビニールを使って材料を写真のように包んで密封にし電気掃除機で中の空気を抜き真空にして、サイレージを作る方法である。四〇日ぐらいでできる。
◎クロールビクリン処理
前記のバキームサイロの空気を抜くかわりに、材

のようながあるという事は、ある時は腹一ぱい、ない時は満足できず何時も「モーモー」と苦情を訴えているのです。五月六月や秋にはどうしても飼料作物は大量に収められる時期ですので、これらの粗飼料をじょうずに貯蔵し、年間を通じて平衡的に給与しようとするのが貯蔵飼料のねらいであり経営のコツであります。
このように定期的に過剰生産された粗飼料を簡単に、だれでもできる新しい粗飼料の貯蔵方法が開発されました。田代町では中村の宮園さんと猪鹿倉の和牛研究会が実施しています。
◎バキームサイロ
ビニールを使って材料を写真のように包んで密封にし電気掃除機で中の空気を抜き真空にして、サイレージを作る方法である。四〇日ぐらいでできる。
◎クロールビクリン処理
前記のバキームサイロの空気を抜くかわりに、材



(牧草刈りの写真は猪鹿倉肉用牛グループ)

日本脳炎は5月ごろから10月までの間に発生し、昭和43年度は県内の患者23人で9人が死亡しました。

◇ 日本脳炎とはどんな病気か

- ◎ この病気は非常に致命率が高く、また手足の運動障害や白痴などの精神障害を残すものが20～30パーセントあるという恐ろしい病気です。
暑いさかりに流行する伝染病で特に子供さんや、老人のかたがかかりやすい病気です。

◇ 日本脳炎を予防するには

- ◎ まず予防接種をうけることです。
予防接種は4月～5月までに接種を終えましょう。予防接種をうけているからと、安心はできません。
- ◎ 蚊を退治すること、そして蚊にさされないこと、特に家のまわりの水たまりや水

日本脳炎を予防しましょう 夏の健康をまもる運動 6月5日～7月5日

- ◎ おもな症状 潜伏期は4日～14日ぐらい発病が急激でさむけとふるえとともに39°～40°Cの高熱にはじまり、はげしい頭痛やめまい、嘔吐をおこしくびの筋肉がかたくなり、興奮して頭や手足を動かしてあばれ、狂人のような精神症状や言語障害もあらわれます。

そうなどはいつもきれいにして蚊の発生を防ぎましょう。

- ◎ 日本脳炎は蚊がうつします。
この病気は日本脳炎ウイルス病源を持った蚊にさされると発病します。
(人から人にはうつりません)

- ◎ 暑さに負けないよう、健康に十分気をつけましょう。
過労をさけ、睡眠や栄養を十分とって、ふだんから身体の低抗力をつけておくことです。
- ◎ 夏の強い日光のもとでは無帽のまま長時間さらされないように注意すること。

こんにちは 保健所です

田の緑が雨の中でさらに目に入るころになりました。「太陽の子運動」は現在乳児、幼児検診として進められています。

五月から乳児検診も進み欠席の赤ちゃんのところには保健所の保健婦が訪問指導しています。元気な赤ちゃんに育ててほしいからです。衛生の指導、食事の指導、生活の指導をします。必ず乳児検診に参加し、病気をしないいつも元気な子供に育てましょう。



西 秀徳氏

県交通安全県民会議

より功労賞を受く

西さんは十数年に亘り通学児童の交通指導を続けられ、また自分の費用をもって交通標識の補修をされたり、交通安全について献身

満四才にみえない子供が対象です。三才児は幼児期を通して心身の発達上、最も重要な時期で一個の人格が形成されるころです。「三才児の魂 百迄」というように、このころうけた心身への影響は大人になってからの人間形成に関係します。また精神発達のおくれとか、言語、聴覚、その他の身体諸機能の欠陥も発見しやすく、早期発見は早期治療をし、完全治癒も早いですから必ず三才児検診に参加し、子供の心身の発達の一助としましょう。

川原地区の 献血ありがとう



ばなりません。まず食前の手洗い、次に食後の歯みがき、外から帰ったら顔と手足を洗うように習慣づけましょう。栄養については「わが家の食生活設計」のリーフレットが各家庭に配布されますので、できるだけこれを充分活用し食生活の改善に努めましょう。

三才児の死亡率も、まだ諸外国に比べて高いので、衛生知識の向上をはからね

奉仕され、町民の皆さんから感謝されていました。このほど頭書の表彰をうけられました。

役場の出勤時間が

六月一日から

八時になりました。

「川原地区献血結果」

献血者数 献血量

平石	一	鳥淵	四
柴立	四	早瀬	一
上原	一	郷ノ原	〇
上原	一	辺志切	三
池野	三	鶴園	八
猪鹿倉	六	花瀬官行	二
		保育所	三

交通事故などで輸血を必要とする患者が多く血液が大変不足しています。また献血をしておきますと次に自分や家族が輸血の必要な病気のととき他の人に優先されます。元氣な人は是非献血をしましょう。